特定非営利活動法人手賀沼トラスト会報 第 7 号（発行日：平成 24 年 2 月 1 日）

「沼のほとり」

発行責任者 遠藤織太郎（TEL：04-7182-0387） 編集責任者 國方幸生（TEL：04-7184-3385）
事務所：我孫子市白山二丁目 13 番 5 号
e－mail：info@teganuma-trust.jp
ホームページ：http://teganuma-trust.jp/ ブログ：http://blog.goo.ne.jp/teganuma-trust/

（日暮邸の蝋梅）

会員だより

農教室の一年を振り返って（1 年次生から）

農教室に参加しようと思ったのは、大きく二つありました。社会人になってから「食」の世界でいきていますが、川上をもっともっと勉強しようと思ったこと、子供たちにこんな近くで農業の体験をさせることができるんだ！ と知ったことがきっかけです。

一年を通じて一番心に残っているのは、来年のために種や種芋を取っておくという当り前の「つなぐ」という作業をしたことです。祖父母と一緒に家庭農園をしていますが、ホームセンターなどで種や苗木を買っています。そのため、来年のためにという発想はいままでまったくありませんでした。種を買うのではなくて、自分たちで作ったものを残しておいて、また来年使って作るということは、育て方の技術とともに次の世代に「つなぐ」という意味も含め農業の当り前を再認識させてもらった瞬間でした。

今年チャレンジしたいことは、「つなぐ」ということをより意識して一つひとつの作業を学んでいきたいと思います。農作業から、また日々の生活の中、当り前に思っていることがいかに特別なものなのかを再認識し、自然環境の大切さを学びたいと思います。

最後に皆さんにお願いしたいのは、今年も子供と一緒に参加させていただきます。子供たちには、いつも優しい声をかけてくださって、うれしく思っています。しかし、今年はより厳しく接していただければと思います。環境を守り、自然と共生するというスローガンを体現していきたいと思っていますので、子供たちも世代を越えてご指導していただくことが、よりたくましく成長でき、トラストの精神を「つなぐ」糧となると思っております。

（森住 理海 記）

農教室の一年を振り返って（？年次生から）

春　2011年の農教室は、3月19日に56名でスタートしました。
冒頭、3月11日の東日本大震災犠牲者への黙とうが行われました。今年の農教室は、大震災の影響で、例年に比べ少し遅れたスタートになりました。震災で多くの人命が失われ、美しい三陸の街並が跡形もなく流され、瓦礫の山と化してしまいました。自然の脅威に愕然としながらも、自然との共生について、農作業を通じて考えようという、手賀沼トラストの課題を改めて重く受け止めた開講式でした。

夏　7月2日、農教室で栽培した初めての収穫物のジャガイモを掘り上げ、恒例のカレーパーティが行われました。（参加者58名）各チームのテーブルでは、賑やかに会員相互の親睦を図っていました。自分達で植付けを行い、丹精込めて手入れした作物を、収穫直後に食するのは、最高の贅沢であり、至福のひと時です。随分、前の話ですが、釣り船で鯵をねらいに釣行した時、外道でサバが掛かったと騒いでいたら、やおら船頭が手際よく捌き、刺身にしてくれて「食べてみなよ、取れたては最高だから！」「いやーうまい！」そんな会話を思いださせてくれました。

秋　8月20日に63名が参加して種を蒔いた「そば」は、5日ほどで発芽、生育は順調でしたが、花が咲き、受粉時期に台風の襲来を受け、かなりの株がなぎ倒されてしまいました。種蒔き後約70日の10月22日から2回に分け、刈取りを行い、天日干し、一週間後の脱穀作業により、玄そばで60kg、そば粉にして43．5kgを収穫出来ました。会員たちで種蒔きから玄そばまで手を掛けて作ったそば粉を使って、恒例のそば祭りが11月26日に行われました。トラスト会員の「蕎麦勉強会」で日ごろ腕を磨いている方々が師匠となり、教わりながら蕎麦を打つ。水回し、こねる、伸ばす、切るという工程を経て、不揃いではあるものの、打ち立てを茹で、食しました。これまた最高のひと時でした。

冬　昨年も、春夏秋冬、農教室の活動、カレーパーティ、そば祭り、芋煮会、餅つき大会といったイベントに参加させて頂き、会員たちとともに作った作物を収穫、食するといった喜びを体感させて頂きました。例年行われている里芋コンテストでは、最優秀賞を受賞するというサプライズもありました。これといった秘策を講じたわけでもなく、文字通り天の恵みと受け止めています。引き続き留年を志願し、また今年一年農教室に参加、自然との共生を考えつつ、種を蒔き、収穫、食す贅沢を味わいたいと、決意を新たにしています。　（平井　幸夫　記）

東京からトラスト活動に参加して

手賀沼トラストへの入会は、我孫子野鳥を守る会で親しくしていたトラストに熱心だった故梅村先輩が、トラストの活動は野鳥達が生息する為の自然環境を作る事に大いに役立つ素晴しい活動だと、熱く語られ誘われたことがきっかけでした。

自然環境を守り、動植物、人と自然の共存を目指す当会の主旨、改めて色々実践し学ぶ事ができ、紹介して頂いたこと深く感謝しています。

以前は我孫子に住み日常的に土に触れる機会があったのですが、7 年以上前に東京に居を移した当初は、周囲は高層の建物ばかりという環境の変化に少々戸惑いました。無い物ねだりのようですが、我孫子にいる時は余り関心がなかったのに急に土が恋しくなりました。幸いに居住地のマンション内に家庭菜園用地があり、応募して野菜作りを始めました。土を耕し、種をまき、植付けをして、すぐ出るはずも無い芽立ちを毎朝見に行くようになり、見回ると何か気付きそれを手当する、物作りの醍醐味を味わっています。

菜園では失敗は多々ありますが、トラストで学び教えて貰った事が大いに役立っています。菜園はみな無農薬栽培なのか憎らしい害虫が出ますが、反面その虫を餌に都会とはいえ、蜂・カマキリ・ガマガエルや鳥達が多く来ます。

我が家の周囲も、花壇や公園の緑地化などで花や緑が増え、ミツバチ飼育も可能ではと思われますが、ビルの 14F ではどうなのか？　トラストのミツバチ分科会で飼育の基本とノウハウを教えて貰い、近々やりたいと考え企画中ですが自信ありません。

私の家庭菜園での実績をもってトラストに提案した食べる糸瓜（ナーベラ）栽培。トラストでの収穫も上々と評判が良く、又食べる人も増え、レギュラー耕作になったのは嬉しい事です。

トラストの主軸は米作りですが、今は少なくなった冬の時期も水田に水を張る耕作法に於いては、長所、短所もあるようですが、自然に優しい環境作りには大いに役だっています。飛来する水鳥にとっては安全な餌場・塒の提供となり、水田にとっては水鳥が雑草を食べてくれ、落とした糞が有機栄養となっています。

早苗饗、そば祭り、餅つき。皆で頑張り作った収穫物を、皆で集い食す喜びは、至福のひとときです。
特にこのイベントは、会員の女性軍団の活躍無しでは成り立ちません。各人自慢の究極の料理をいただくのは最高です。毎年の楽しみの一つです、有難うございます。又、今年も宜しくお願いします。　（柴本　三弘　記）

幽霊会員の一年

私が会員になったのは約3年前。仕事で活動にはあまり参加できなくても、手賀沼トラストの活動が好きで未来に向けてとても大切な活動と共感したからです。その年は田植えとそば祭りの前日準備に参加。みんなでの共同作業なので、一人で参加しても寂しくはなく、温かく楽しい輪の中で過ごせて、ホッとしたことを覚えています。

2年目はまったく活動に参加できず。友人を誘って蓮の花と案山子たちを見に行き、みなさんの活動が元気に行われている様子を見られることに喜びを感じていました。

3年目は正直どうしよう…と、前年にまったく顔を出さなかったので、今更行きにくいよぉ…と迷っていました。郵送される会報が私と会を繋ぐ唯一のもので、いつも丹念に見ていました。「みかん畑の手入れをする方募集」の記事に「おおぉぉ！」と食らいついてしまいました。なにせ子どもの頃は食べ過ぎて手と足の裏が黄色くなったほどのみかん好き。問題は日時、自分の空き時間に草取り手伝いならと打診。なんとかＯＫをいただき、ばんざーい！！(^o^)みかーん♪空き時間に作業開始。大好きなみかんに囲まれながら少しでも活動できることが嬉しい♪

私に"幽霊会員"とあだ名をつけたKさんが、「イベントの時においで、"幽霊はたまに姿を現すから幽霊なんだよ"」と言われ、幽霊にもなれないのは寂しいな〜と、重い腰をあげ恐る恐る昨年の餅つき大会に参加しました。男性は焚き火のそばで、女性は作業台のところで談笑していて、田舎の祭りの日を思い出し、初めての方やイベントの時だけ来る方も知ってほっとしました。交代で餅をついたり、餅を丸めたりしながら名前は分からなくてもおしゃべりがはずみました。みなさんが育てたイモ類や黒米を買えるのも楽しみの一つ。つきたての美味しいお餅でお腹いっぱい！来年は友だちも誘ってイベントに参加しよう！とルンルンで帰ってきました。

今年の夢は、定期活動日に集まれない幽霊さんたちと会合したり、一緒にイベントに参加すること。誰か幽霊仲間になってくれませんか？？

（佐藤 ゆり 記）

会員コーナー

日本ミツバチの話（その5）

富澤 崇

女房から蜂飼育の許可を取り付けた私に、さらなる幸運が舞い降りる。それも一つではない、二連ちゃんである。幸運が団体でやってきたのである！ そのいきさつはこうだ。

『日本蜜蜂の飼育』にまた私への返事が載った。「我孫子トミーというから、我孫子にあるトミーという喫茶店のママさんかと思いました。そこのママさんも蜂を飼いたがっているから話が合うと思いますよ（イルカ）」とある。そこで、イルカさんの勧めにしたがって、散歩がてら女房と喫茶店を訪ねることとした。3 月 30 日、うららかな春日である。沼沿いに歩いていると銀杏の巨木が 2 本見える。神社のようだ。近寄ってみると実にみごとな木だ。雌木なら大きなギンナンがなるだろうな、と例のごとくしょうもない妄想をしていると、女房が「あら、これ蜂の巣じゃない？」「え？何？」と私。見ると、間違いない、インターネットやら本やらに載っているあの幻の日本ミツバチの自然巣だ。しかも、何と両方の木にあるではないか。黄やオレンジの花粉をつけた蜂が根方に空いた穴につぎつぎと飛びこむ。入れ違いに巣から一直線に飛び出して青空に消えていく蜂たち。耳をすますと、あたりは心地よい羽音にみちている。感動的な光景だった。この巣の近くに巣箱を仕掛ければ捕獲できそうだ。何という幸運。これが幸運第1号。

帰りに喫茶店に寄った。美味しいコーヒーを飲みながらママさんとハチ談義に熱中した。「私も飼ってみたいわ。トーストに蜂蜜を塗ってモーニングサービスで出したら素敵ね」と美人のママさん。女房の冷たい視線を気にしながら、「たくさん捕まえたら 1 箱あげましょう」と、捕らぬ狸の大盤振る舞いをする私。

さっそくイルカさんにネットで報告。すると「えっ、自然巣発見？羨ましい。じつは、金稜辺（キンリョウヘン）という蘭があると蜂捕獲の確率が格段にあがるのですが、なかなか手に入りません。ちょうど花芽がついた株をいくつか持っているので一鉢差し上げます。ママに預けて置きますのでどうぞ」と返事が。何という好意、何という気前の良さ。見ず知らずの私に花芽付きの貴重な金稜辺をただでくれるとは。これで捕獲間違いなし！ これが幸運第2号。

ところで、金稜辺って何？ 巣箱ってどんなものなの？ ミツバチはどう捕まえるの？ そして捕獲大作戦の成果や如何に？ は次号に続く。

農教室 「特別コース」 受講生募集！

従来、「**特別コース**」は農教室受講生のうち 4 年次生以上の方を対象に、一区画 10 ㎡の圃場で、共通課題作物としてのサトイモを除いて、自主的な計画にしたがって自由に作物を栽培し、有機（生態系）農業の研鑽を積んで頂きました。この度、昨年の NPO 法人化を踏まえ、定款の目的にも掲げた「**有機（生態系）農業の体験、教育、普及活動**」の一環として、「**特別コース**」を位置づけ、システムを一部見直し、対象を２年次生以上に拡げ、下記のとおり、新規に希望者を募ることにいたしました。農教室のカリキュラムの他に、更に有機・無農薬による知識・栽培技術の向上や農的交流を深めたい方を募集いたします。

1. 内容：演習（ゼミナール）方式により、講義、個別指導、情報交換等により、農の知識、技術・技能の向上を図る。
2. 対象：2 年次生以上の希望者、応募多数の場合抽選
3. 圃場：根戸城址下圃場（一区画 10 ㎡）
4. 受講料：2,000 円／年 （収穫物は自家消費）
5. 講師：遠藤織太郎氏、杉野光明氏、日暮知男氏 その他外部講師、アシスタント（農教室スタッフ）
6. 申込先：浅妻 正（農事・農教室グループリーダー） TEL＆FAX：04−7190−5975
7. 受付期間：2 月 1 日（水）〜2 月 29 日（水）

● 1月度 活動報告

活動日	区 分	担当部門	参加者	活 動 内 容
12／26(月)	市内	事務局	1 名	ふれあい通り圃場スロープ補修工事現地立会
12／27(火)	市内	事務局	2 名	関係先年末挨拶
1／7(土)	会議	農事 G	3 名	H24 年度農教室の栽培作物について協議
1／9(月)	作業	農事 G	2 名	特別コース圃場区分
1／12(木)	会議	事務局	2 名	ACNW 新年交流会、市長懇談会
1／14(土)	会議	農事 G	14 名	活動体制、栽培カレンダー、作付計画等の検討
々	会議	事務局	4 名	広報担当ミーティング
1／15(日)	定例活動	環保 G	15 名	根戸城址西側斜面の手入れ(竹の伐採、ごみ拾い等)
々	会議	事務局	5 名	販売 PJT ミーテイング
々		農事 G	7 名	特別コース新区画説明
1／16(月)	会議	農保 G	7 名	今後の活動方針について協議
1／21(土)	取手市	農保 G	3 名	ヒマワリ栽培方法、搾油方法ヒアリング
1／22(日)	会議	環保 G	3 名	現状の課題と H24 年度活動内容の検討
々	会議	事務局	10 名	H23 年度第 7 回定例理事会

● 2月～3月度 活動計画

活動日	区 分	担当部門	活 動 内 容	留 意 事 項
1／28(土)	サロン	交流 G	有機(生態系)農業基礎講座[Ⅰ]	**公開講座、けやき7階、18 時 30 分～**
1／30(月)	会議	農保 G	箕輪圃場利用計画の検討	
2／1(水)	定例活動	環保 G	ハス田管理(施肥、波板打込み等)	日暮会場、8 時 30 分～
々	会議	事務局	業務連絡会(事業計画、活動予算他)	けやきプラザ 10 階、18 時 00 分～
2／11(土)	サロン	交流 G	有機(生態系)農業基礎講座[Ⅱ]	**公開講座、けやき7階、18 時 30 分～**
々	会議	農事 G	農教室運営スタッフ会議	けやきプラザ 8 階第 2 会議室 9 時～11 時
2／12(日)	定例活動	環保 G	ハス田管理(施肥、波板打込み等) 圃場、樹林地の放射線量測定	日暮会場、8 時 30 分～
2／19(日)	研修	事務局	普通救命講習(消防本部出前講座)	**対象:各グループ運営スタッフ、一般会員**
2／26(日)	会議	事務局	H23 年度第 8 回定例理事会	けやきプラザ 10 階、18 時 00 分～
3／3(土)	会議	事務局	農教室申込者説明会	**けやきプラザ 7 階研修室 18 時から**
3／4(日)	定例活動	環保 G	樹林地管理(下草刈り、落葉集め)	日暮会場、8 時 30 分～
3／7(水)	会議	事務局	業務連絡会(事業計画、活動予算他)	けやきプラザ 10 階、18 時 30 分～
3／10(土)	農教室	農事 G	開講式、堆肥つくり	**日暮会場、8 時 30 分～**
3／18(日)	定例活動	環保 G	樹林地管理(下草刈り、落葉集め)	日暮会場。8 時 30 分～
3／20(火)	サロン	交流G	落語会(山遊亭金太郎さん)	**木戸銭 1,000 円／一人、14 時から**
3／24(土)	農教室	農事 G	ジャガイモ植付け	日暮会場、8 時 30 分～
3／25(日)	会議	事務局	H23 年度第 9 回定例理事会	けやきプラザ、18 時 00 分～

※ 活動日程に変更がある場合は HP の「お知らせ」テロップでご案内します。

※ お問合せ先 ： TEL:04－7184－3385(國方)、04－7131－3450(吉田)宛にお願いします。

お 知 ら せ

◎ 定例活動日の変更･･･3 月から定例活動日を毎月**第 1 日曜日**と**第 3 日曜日**に変更いたします。

◎ 「普通救命講習」のご案内

日　時:平成 24 年 2 月 19 日(日) 9 時～12 時

場　所:我孫子西消防署 3 階会議室

対象者:各グループ運営スタッフの皆さん。

(一般会員の方も参加できます。日常生活上も役に立つ内容です。是非、ご希望の方、ご参加を！)

申込先:事務局 國方(TEL:04－7184－3385)

編 集 後 記

・ あっという間に正月が過ぎてしまいました。齢を重ねるほどに時の過ぎるのが速く感じられます。今冬は殊のほか寒い日が続いています。畑に行くのが億劫な日々ですが、今が土作りの時期と思い、奮い立って、畑に出かけています。

・ 一面の写真は昨年 500mm のレンズで撮った、日暮邸の蝋梅です。“蝋細工のような梅に似た花”からその名が付いたようです。花言葉は慈しみ、ゆかしさ、先導だそうです。“春”はもうすぐです。 (國方記)